

「発信できる訪問看護師を目指して」

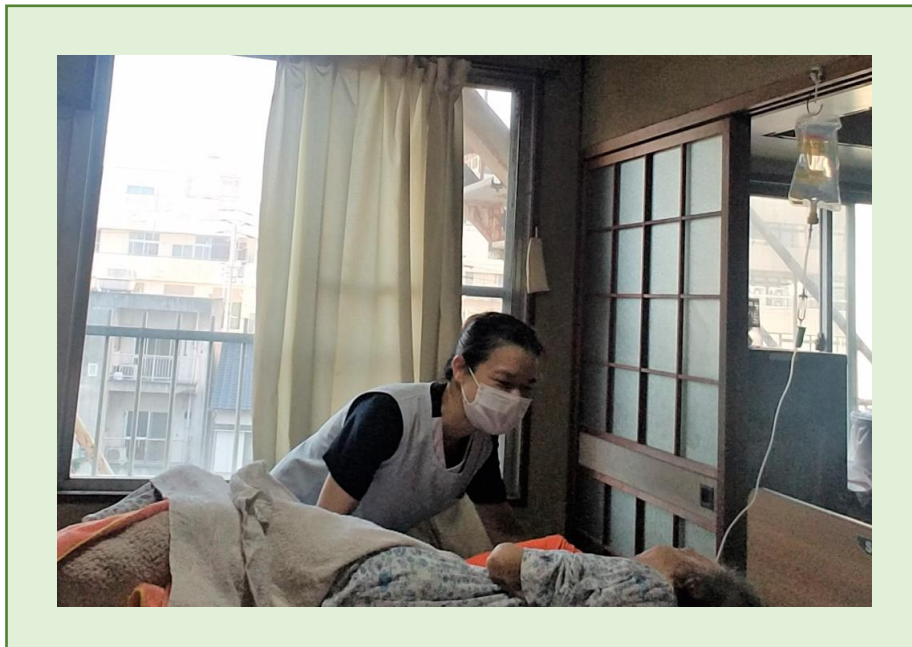
令和3年度在宅ケア認定看護師教育課程 研修生
山崎 千絵（香川県：訪問看護ステーションやすもり）

1) 課程に入った経緯

医療提供される場は病院から地域へと広がり、訪問看護師の役割はますます重要となっています。私は訪問看護師として活動する中で、その役割の重要性、責任の重さを痛感し、アセスメント能力を高めたい、訪問看護について体系的に学びたい、認定看護師を目指したいという気持ちを持ちながらも日々の業務に追われ学習できずにいました。今回、在宅ケア分野認定看護師教育課程が徳島大学で開講されることを知り、この機会にぜひ学びたいと思い志願しました。

2) 初めての対面授業を終えて

6月末に、コロナ禍の状況で初めて対面授業を向かえることができました。授業の中で、グループワークや講義を受けて訪問看護師が地域特性を捉え、予防的に地域とかかわっていくことの重要性と医療現場だけではなく社会に関わっていくことの大切さを痛感しています。また、自分達で声を上げ、より良い医療・看護・介護の仕組みを作り上げていくことへの意識を醸成しているところです。



利用者様に笑顔で声かけをしてからスタートする訪問看護（山崎 千絵研修生）